

信州登山案内人試験 山行履歴書について

1 山行履歴書の主旨

信州登山案内人が安全で楽しい登山を顧客に提供するうえで、最も重要な「安全確保能力」の基となる、豊富な登山経験および登山技術を確認するため。

2 作成にあたっての注意事項

- (1) 日付の新しい履歴から記入すること。
- (2) 一日あたりコースタイムで概ね4時間以上の登山を記入すること。
- (3) 雪山日数は12月～3月の厳冬期に行った、標高1,500m以上の登山を記入すること。
- (4) 人工的な岩場、氷柱、ゲレンデ等で行う、各種クライミングは山行履歴に含まないこと。
- (5) 職務および通勤に関する山行(例: 歩荷(ボッカ)、山小屋業務など)は山行履歴に含まないこと。
- (6) グレーディングの該当日数は、「信州山のグレーディング」の体力度4以上または技術的難易度C以上に該当する山行日数を記入すること。
- (7) 次の山岳は長野県内には該当しませんので、ご注意ください。

誤記入が多い長野県外の山岳:

剣岳、立山三山、水晶岳、黒部五郎岳、薬師岳、北岳、間ノ岳、荒川岳

「信州山のグレーディング」
こちら

受験する山域ごとに作成してください。
受験する山域以外の履歴については、
「その他」の用紙に記入してください

信州登山案内人試験山行履歴書(記載例)

3枚中の1枚目

山岳名	年 (和暦)	月	山行日数 (A)	(A)のうち 長野県内 の日数	(A)のうち 1500m以上 の雪山日数	(A)のうち 受験する 山域の日数	(A)のうち グレーディング の該当日数
室堂～劔沢～劔岳～別山尾根	30	8	4	0	0	0	0
常念岳～蝶ヶ岳	30	7	3	3	0	3	2
室堂～劔沢～劔岳～別山尾根	30	2	5	0	5	0	0
上高地～奥穂高岳～西穂高岳	29	7	3	3	0	3	3
白沢三股～餓鬼岳～燕岳～中房	29	7	3	3	0	3	2
上高地～槍ヶ岳	29	7	2	2	0	2	2
上高地～奥穂高岳～西穂高岳	29	6	3	3	0	3	3
乗鞍岳	29	6	1	1	0	1	0
～省略～							
白馬大池～白馬岳～唐松岳	25	1	4	4	4	4	4
遠見尾根～五竜岳	24	10	2	2	0	2	2
上高地～涸沢～北穂高岳	24	9	2	2	0	4	4
唐松岳	23	1	2	2	2	2	2
計	—	—	36	27	11	27	24

(参考) 受験資格

登山歴5年以上 200日以上 100日以上 30日以上 30日以上 20日以上